

令和6年度 英語科 学習の手引き

1 英語科で身に付けたい力

言語についての理解と活用する力

英語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどについて理解し、これらの知識を活用できる技能を身に付ける。

情報や考えの理解と活用する力

英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりすることができる。

主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

聞くこと

日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。

読むこと

日常的な話題について、必要な情報を読み取ることができる。

話すこと

(やり取り)
相手に興味を持って、即興で質問することや答えることができる。
(発表)
目的、場面、状況に応じたまとまりのある内容を話すことができる。

書くこと

事実や自分の考えを簡単な語句や文を用いて、正確に書くことができる。

2 学校での学習の進め方の例

学校の授業では、「聞く・読む・話す・書く」力を身に付け、考える力を高めていきます。

毎時間の授業はリスニング（聞く）

先生方は、可能な限り英語で授業をします。何を言っているのか考えながら、集中して聞きましょう。たくさんの英語を聞くことで、だんだんと英語が聞き取れるようになります。



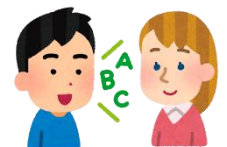
繰り返し音読練習（読む）

発音練習や音読練習をたくさん行います。英語の音声を聞いて、聞こえたとおりに発音しましょう。授業中は恥ずかしがらずにしっかり声を出して練習しましょう。



積極的にコミュニケーション（話す）

ペアやグループでの学習をたくさん行います。先生の話聞くだけでなく、話し合うときや活動するときは、自ら積極的に授業に参加してください。相手の目を見て、話しましょう。



辞書の活用（書く）

自分の考えや思いを書けるように練習します。わからない単語は、辞書で調べる習慣をつけましょう。授業中に話した内容や学習した内容を英語で書けるようにしていきましょう。



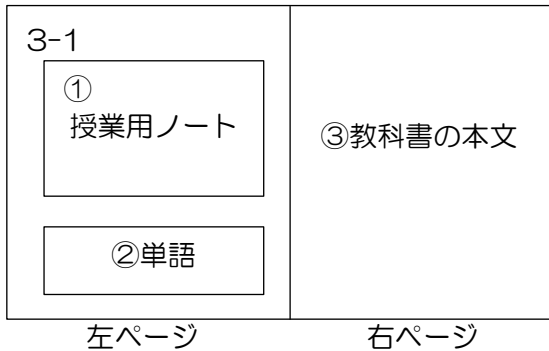
※定期的に宿題を出します。（ノートに単語の意味や本文の書き写し、ワークなど）

授業中の取り組みを評価しています。定期テストの点数だけでは、成績をつけていません。授業での取り組みを大事にし、積極的に授業に参加をしましょう。



3 ノート・ワークシートのまとめ方の例

【ノートのまとめ方】



復習やテスト前に利用できるように文字は丁寧に書きましょう。

- ①授業中に新出文法や重要表現を使って、英作文を書いたりします。また、教科書の基本文や重要表現など、授業中で学んだことを書きましょう。
- ②教科書の新出単語とその意味を整理しましょう。品詞や例文、派生語も書くといいでしょう。
- ③教科書の本文をよく読んでから写しましょう。授業中に習った使い方などを書き込んでおくと、あとから見返したときにわかりやすいです。

【ワーク】

- ①授業で文法や重要表現の確認で使います。また、ワークの宿題もあります。
- ②自宅でワークを学習するときには、自分で解いたあと、必ず答えを見て確認しましょう。間違えたところは、赤で直し、正しい答えを書いておきましょう。

【ファイル】

授業で配られたプリントは、必ずファイルにはさみ、なくさないようにしましょう。



4 家庭学習の進め方の例

家庭学習でも、4つの力を意識して学習に取り組むと効果的です。

聞く 教科書のQRコードで音声を聞きましょう。
NHK ラジオの基礎英語やラジオ英会話を聞きましょう。

読む 教科書を覚えるくらいまで音読練習をしましょう。
内容を理解し、気持ちを込めて読みましょう。

話す 教科書の本文の内容を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
自分のことや身近な話題を英語で話せるようにしましょう。



書く 自主学习ノートにワークの問題を解いたり、単語を練習したりしましょう。
その日の授業で学習したことをノートにまとめ、授業で話したことを英語で書いてみましょう。
英語を書くときには、発音しながら書くと良いでしょう。

英語は繰り返し学習することが大切です。毎日少しずつでも英語に触れ、声に出して学習しなければなりません。学校の授業だけでは、せっかく身に付いたものも忘れてしまいます。その日に出た宿題は、その日のうちにやりましょう。さらにその日の授業の復習を家庭学習に取り組むことで英語の力が定着します。

5 「英語科」成績の付け方の例

資質・能力	評価の主な資料
<p>知識・技能</p> <p>英語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどについて理解し、これらの知識を活用できる技能を身に付ける。</p>	<p>【知識】リスニングテスト、音読テスト、ディクテーションテスト 定期テストや小テスト等</p> <p>【技能】ペアワーク、パフォーマンステスト等 定期テスト、プリント、発表等</p>
<p>思考・判断・表現</p> <p>英語で簡単な情報を理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる。</p>	<p>【話すこと・発表】ペアワーク、パフォーマンステスト、ノート</p> <p>【話すこと・やりとり】ペアワーク、パフォーマンステスト</p> <p>【思考・判断】Q&A、英作文、プリント、定期テスト</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>◎授業の取り組み</p> <p>◎自己評価、振り返り</p> <p>◎定期テスト</p> <p>◎パフォーマンステスト</p> <p>◎ノート点検</p> <p>◎自主学習ノート</p>